

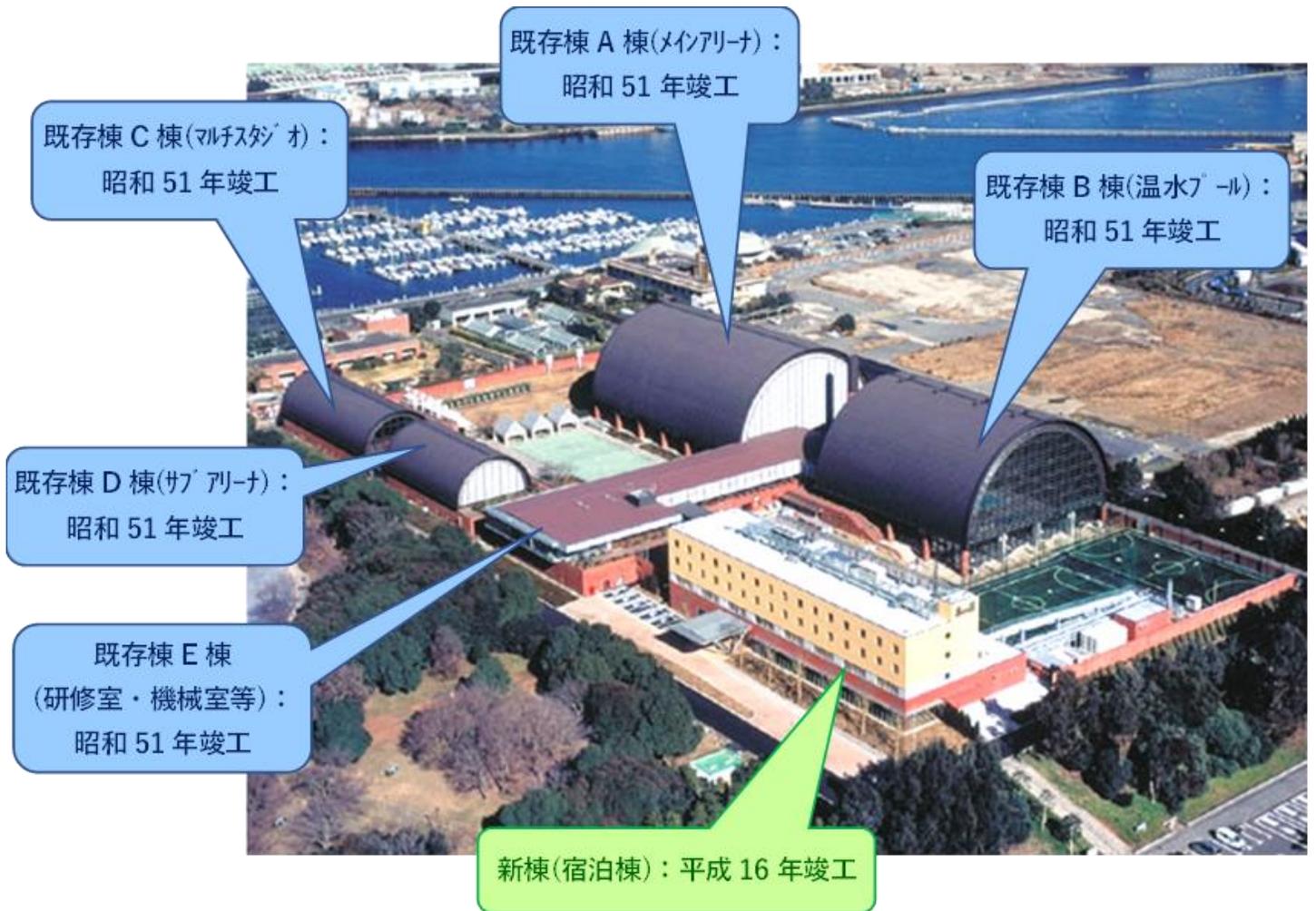
区部ユース・プラザの概要と現状について

区部ユース・プラザの概要

①立地・経緯



- 都立夢の島公園内に設置
- 都心に比較的近い臨海部であり、周辺の体育・公園施設等の活用が可能であること等から体育館と一体化して整備



区部ユース・プラザの概要と現状について

②設置・運営・施設等

設置趣旨	① 青少年の自立と社会性の発達を支援 するため、生活体験や社会体験等の直接体験や、多くの人々との直接的な交流ができる機会と場を提供する。 ② 生涯学習振興 のため、広く都民に 文化・学習やスポーツなど多様な活動の機会と場を提供 する。
所在地	江東区夢の島二丁目1番3号（ 都立夢の島公園内 ）
開館	平成16年3月31日
築年数	既存棟（スポーツ棟等）：築48年 新棟（宿泊棟）：築20年
P F I 事業者	第1期 P F I 区部ユース・プラザ株式会社（出資：株式会社大林組） 第2期 K Y P パートナース株式会社（出資：大林ファシリティーズ株式会社）
P F I 事業期間	第1期 平成16年3月31日～令和6年3月30日（20年間） 第2期 令和6年3月31日～令和11年3月31日（5年間）現在2期目
P F I 事業方式	第1期 宿泊棟がB O T方式、既存棟(スポーツ施設等)がR O方式 B O T方式…事業者が施設の設計・建設・所有・維持管理を行い、事業終了後、都に譲渡 R O方式…事業者が施設の設計・改修・運営・維持管理を行い、事業終了後、都に返還 第2期 O方式

区部ユース・プラザの概要と現状について

	施設区分	床面積	説明
新棟 (宿泊棟)	宿泊施設	2,168㎡	シングル7室、ツイン12室、5人部屋38室、10人部屋3室、計60室 定員251人 ※10人部屋を除き、バス・トイレ付、2階に障害者対応大浴室 ※10人部屋及び2階のフロアのツイン等は障害者対応
	文化学習施設	55㎡	研修室（和室）1室
	ユーススクエア	200㎡	青少年の活動相談、情報の提供、交流の機会の場を提供
	レストラン・売店	485㎡	レストラン128席、再調理室、売店
	管理・共用施設	1,737㎡	事務室、中央管理室、機械室、階段、エレベータ、トイレ等
	合計	4,960㎡	
既存棟	文化学習施設	659㎡	研修室2室、ミュージックスタジオ2室、演劇室1室、多目的室2室等
	スポーツ施設	7,034㎡	メインアリーナ、サブアリーナ、マルチスタジオA・B・C、フィットネススタジオ、アーチェリーフィールド、温水プール等
	浴室	614㎡	浴室、保育室、保健室、活動支援室等
	共用施設	4,223㎡	廊下、階段等
	合計	12,530㎡	

区部ユース・プラザの概要と現状について

<施設の一部抜粋>

左側：新棟（宿泊棟）

右側：既存棟

宿泊室(車椅子対応)



宿泊室(10人)



浴場(障害者対応)



ユーススクエア



災害時用スロープ



メインアリーナ



サブアリーナ



アーチェリー場



屋内プール



研修室



アクターズスタジオ



区部ユース・プラザの概要と現状について

○ユース・プラザの機能は、青少年を取り巻く課題（直接体験・集団活動の機会の不足、家庭の教育力・地域の教育力低下、いじめ・不登校等）を踏まえ、**青少年の自立や社会性の発達の支援及び生涯学習振興の観点から設定**

（第1期）ユース・プラザに求められる機能 （※）

主体的活動や交流の場	・グループ・団体等の自主的な活動や交流の場を提供するとともに、青少年の多様な創造・発信を支援
体験学習の場	・自然体験、ボランティアなど様々なプログラムを用意し、多様な体験学習を提供・支援
自立(律)を促す場	・青少年が摸索しながら、自分を発見し、自立していく過程を支援
ネットワークの拠点	・区市町村や青少年関係機関・団体などを支援するセンター

事業内容

貸館・宿泊事業

- ・宿泊施設
- ・スポーツ施設
- ・文化施設
- ・野外活動施設（多摩のみ）

社会教育事業・サードプレイス事業

- ・社会教育事業の実施
- ・青少年の活動に関する相談対応・情報提供
- ・団体等への活動成果の発表や交流機会を提供

※ 平成10年1月22日 青年の家の再編・整備（ユース・プラザ建設）方針について「ユース・プラザの基本的考え方」

区部ユース・プラザの概要と現状について

③現状 <稼働率>

- **宿泊施設の室稼働率**は、開業当初の40%台から増加傾向。5年度は71%
- **スポーツ施設**も増加傾向で5年度には67%
- **文化・学習施設**は40~50%程度を維持

※令和2・3年度はオリパラ使用・コロナ禍により利用減

